

令和 8 年度における施策推進方針（県北広域振興局）

施策推進方針	いわて県民計画（2019～2028）の推進に係る重要課題等
◆ 令和 8 年度振興施策における重点化の視点 - 若者・女性に選ばれる地域づくりに向けて、ジェンダーギャップの解消や若者・女性が主体的に行う取組への支援などを中心に人口減少対策を重層的に展開 - 令和 7 年度第 3 回人口問題対策本部会議等を踏まえ、本庁事業との相乗効果を発揮できるよう地域事情を考慮した取組を推進 - いわてネクストジェネレーションフォーラム 2025 のレガシーを引き継ぎ、若者や女性などが活躍できる環境づくりを進めながら、就職や結婚・子育てなど、多様なライフステージに応じた支援を強化 ◆ 地域振興プランにおける振興施策の基本方向<目指すべき姿> 多様かつ豊富な資源・技術、培われた知恵・文化を生かし、北東北、北海道に広がる交流・連携を深めながら、新たな地域振興を展開する地域 <振興施策の基本方向> Ⅰ 隣接する圏域とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域 Ⅱ 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域 Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	1 人口減少対策の強化・推進 <少子化対策・社会減対策> 多様なライフステージに応じた支援の取組を推進しつつ、特に、若者・女性に選ばれる地域づくりに向けて、若者・女性が主体的に行う取組の支援を基軸とした施策を重層的に展開 <少子化対策> ◇ ジェンダーギャップ等の解消に向けた重層的な取組の展開 【新規】、【広域】、【地県】 産業分野ごとのジェンダーギャップ等の課題を可視化し、地域のリーダーや企業の経営層と課題への対応を共に考える取組を実践 <社会減対策> ◇ 若者・女性の交流や挑戦を支えるネットワークの形成支援 【新規】、【広域】、【地県】 ネクジェネ 2025 のレガシーを生かし、県北地域の若者や女性の交流機会を創出するとともに、主体的にチャレンジする地域活性化の取組等を支援 ◇ 御所野遺跡やみちのく潮風トレイルなどの資源を活用した観光推進 【拡充】、【広域】 世界遺産登録 5 周年を迎える「御所野遺跡」、国内外からの評価が高い「みちのく潮風トレイル」などの活用や、アドベンチャーツーリズムなどの広域周遊の取組を推進 2 地域振興プランの推進 振興施策の 3 つの基本方向と 14 の重点施策項目による振興施策を推進 特に取り組む事項は次のとおり。 ◇ 「白銀のひかり」のブランド化の推進 【拡充】、【地県】 新品種「白銀のひかり」の認知度向上を図り、県北地域における消費拡大と栽培面積の増加を推進 ◇ 漁村地域における賑わいと雇用の創出、交流人口の拡大 【拡充】、【地県】 市町村や漁業団体等と連携して、久慈地域の漁業体験や食体験の提供などの短期滞在型「海業」旅行商品の開発、モニタリングツアーの実施及び情報発信の強化を支援

※ 本庁事業：**【本庁】**、広域振興事業費：**【広域】**、地域経営推進費(県)：**【地県】**、地域経営推進費(市町村)：**【地市】**

いわて県民計画（2019～2028）の推進に係る重要課題（県北広域振興局）

1 少子化対策の3つの柱（人口減少対策）

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容																								
(1) 女性の活躍を応援 ◆女性の待遇格差（岩手と東京） 女性の所定内給与は15年間で東京の女性が42.6%上昇する一方、岩手の女性は 16.3%の上昇にとどまっている 【R6所定内給与額（企業規模10人以上、千円）】 <table><tr><td>岩手県</td><td>男</td><td>女</td></tr><tr><td>20～24歳</td><td>211.5</td><td>205.5</td></tr><tr><td>35～39歳</td><td>286.2</td><td>239.0</td></tr><tr><td>上昇率</td><td>35.3%</td><td>16.3%</td></tr></table> <table><tr><td>東京都</td><td>男</td><td>女</td></tr><tr><td>20～24歳</td><td>253.7</td><td>254.8</td></tr><tr><td>35～39歳</td><td>428.0</td><td>363.3</td></tr><tr><td>上昇率</td><td>68.7%</td><td>42.6%</td></tr></table> (R6賃金構造基本調査)	岩手県	男	女	20～24歳	211.5	205.5	35～39歳	286.2	239.0	上昇率	35.3%	16.3%	東京都	男	女	20～24歳	253.7	254.8	35～39歳	428.0	363.3	上昇率	68.7%	42.6%	◆ ジェンダーギャップ等の解消に向けた重層的な取組の展開【拡充】 ア 局横断型の「<u>県北広域振興局人口減少対策プロジェクトチーム</u>」による施策展開【新規】 ・ 本年3月に局内の若手・女性職員を中心としたプロジェクトチームを設置 ・ ジェンダーギャップ解消等の人口減少対策を3つのワーキンググループにより検討し、局全体での重層的な取組を展開 <ワーキンググループ> Teamアース【大地】（農林水産業等の一次産業） - Teamリーフ【葉】（製造業・建設業等の二次産業） - Teamミモザ【花】（若者女性活躍） イ 若者・女性が感じているジェンダーギャップ等の可視化【新規】、広域 ・ 各産業分野における課題の可視化 地域社会におけるジェンダーギャップ等の課題を産業分野毎に可視化するため、有識者をファシリテーターとする若手・女性従業員向けのセミナーやワークショップを開催 ・ 可視化された課題の解決策の検討 ワークショップで可視化された課題を基に改善に向けた方策を検討 ウ 地域のリーダーや企業の経営層と課題を共有し、改善に向けた取組を推進【新規】、広域 地域のリーダーや企業の経営層と可視化された課題等を共有し、若者・女性に選ばれる地域となるための方策を共に考えるための「<u>北いわてトップリーダーズ・アクションフォーラム</u>」を開催 ① アンコンシャス・バイアスやジェンダーギャップがもたらす地域への影響等に関する基調講演 ② 若者や女性たちがワークショップで可視化した課題や、検討した改善方策の発表 ③ 若者・女性に選ばれる地域となるため、地域のリーダー等と若者・女性が、共に考えるためのパネルディスカッション
岩手県	男	女																							
20～24歳	211.5	205.5																							
35～39歳	286.2	239.0																							
上昇率	35.3%	16.3%																							
東京都	男	女																							
20～24歳	253.7	254.8																							
35～39歳	428.0	363.3																							
上昇率	68.7%	42.6%																							

※ 本庁事業：**【本庁】**、 広域振興事業費：**【広域】**、 地域経営推進費（県）：**【地県】**、 地域経営推進費（市町村）：**【地市】**

1 少子化対策の3つの柱(人口減少対策)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容												
◆いわてネクストジェネレーションフォーラム2025の継承 11月15日に久慈市で開催された「いわてネクストジェネレーションフォーラム2025」において、久慈地域の若者たちが「若者になれる地域」をテーマに話し合い、大会メッセージが発信されたことから、この取組を継承・発展させることが必要 ◆若年女性人口の減少 県北地域の若年女性の人口が、20年前と比較して4割程度まで減少 【15歳～29歳の女性人口】 <table><tr><th>若年女性</th><th>H16</th><th>R6</th><th>増減</th></tr><tr><td>県北</td><td>9,262</td><td>4,053</td><td>△56.2%</td></tr><tr><td>全県</td><td>110,900</td><td>62,674</td><td>△43.5%</td></tr></table> (人口移動報告年報)	若年女性	H16	R6	増減	県北	9,262	4,053	△56.2%	全県	110,900	62,674	△43.5%	エ 若者・女性の交流や挑戦を支える地域ネットワークの形成及び情報発信【新規】、広域 県北地域の若者・女性が気軽に集い、語り合い、地域課題に主体的に向き合うためのネットワーク「NEXT ROOTS」を形成し、<u>若者・女性の新たなチャレンジや地域活動への参画を促進</u> - 新たな若者・女性の参画を促進し、世代交代による担い手の循環が生まれる持続可能なネットワーク運営を支援 - SNS等の活用による情報発信を支援し、地域における若者・女性の活躍機運を醸成 - 地域課題の解決に向けた取組やネットワークメンバーの新たな挑戦を実践するための事業内容の検討を支援   ネクストジェネレーションフォーラム2025 「NEXT ROOTS」シンボルマーク オ 「いわて女性活躍認定企業」の認証取得の促進【継続】 - 認証取得企業の具体的な効果等の調査 - 就業支援員等の企業訪問により、他の事業者における具体的なメリットの周知等を行い、認証の取得を促進 - 局のSNS等で、認証企業を紹介 カ 市町村人口減少問題等に関する研修会の実施【継続】、地県 市町村の特性に応じた「人口減少問題」に係る政策形成や事業化に向けた個別支援等の実施（R6～R7本庁事業で実施したWSを局独自に継続）
若年女性	H16	R6	増減										
県北	9,262	4,053	△56.2%										
全県	110,900	62,674	△43.5%										

※ 本庁事業：本庁、広域振興事業費：広域、地域経営推進費(県)：地県、地域経営推進費(市町村)：地市

1 少子化対策の3つの柱(人口減少対策)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容												
(2) 出産及び子育てを応援 ◆いわて子育てにやさしい企業等の認証数 (累計、R8.2月末現在) <table><tr><th>認証数</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>県北</td><td>29社</td><td>31社</td><td>34社</td></tr><tr><td>全県</td><td>329社</td><td>369社</td><td>388社</td></tr></table> いわての子みんなが作る大きなゆりかご  「いわて子育てにやさしい企業等」認証取得	認証数	R5	R6	R7	県北	29社	31社	34社	全県	329社	369社	388社	◆ 子育て世代の働きやすい職場環境づくりの支援【継続】 「いわて子育てにやさしい企業等」認証取得、「いわて子育て応援の店」登録の勧奨【継続】 ・ 認証取得企業、登録店に対する具体的な効果等の調査 ・ 企業訪問等により、他の事業者における具体的なメリットの周知等を行い、認証取得・登録を勧奨 ・ 局のSNS等で、認証・登録企業を紹介
認証数	R5	R6	R7										
県北	29社	31社	34社										
全県	329社	369社	388社										
(3) 出会いや結婚を応援 ◆有配偶率の減少 ・平成27年からの5年間で7ポイント減少 <table><tr><th>有配偶率</th><th>H27</th><th>R2</th><th>増減</th></tr><tr><td>県北</td><td>57.6%</td><td>50.2%</td><td>△7.4%</td></tr><tr><td>全県</td><td>57.8%</td><td>49.5%</td><td>△8.3%</td></tr></table> (国勢調査)	有配偶率	H27	R2	増減	県北	57.6%	50.2%	△7.4%	全県	57.8%	49.5%	△8.3%	◆ 出会いの機会の創出【継続】 ア 出会いの機会の創出【継続】、本庁、地県 本庁事業の「岩手であい・幸せ応援事業」や市町村の取組と連携し、多様な出会いの機会創出や有配偶率の向上に繋がる施策を展開 (若年者が集まる「Reフレッシューズミーティング」等の枠組を活用した多様な交流機会の創出) イ 市町村や団体と連携した結婚支援【継続】、地県 ・ 市町村や各種団体と現状や関係施策を共有し、施策の連携等について意見交換の実施 (県北地域結婚支援関係団体等連絡会議) ・ 市町村と一体となった結婚支援の取組の事業化・伴走支援の実施 (人口減少問題等に関する市町村職員勉強会)
有配偶率	H27	R2	増減										
県北	57.6%	50.2%	△7.4%										
全県	57.8%	49.5%	△8.3%										

※ 本庁事業：本庁、広域振興事業費：広域、地域経営推進費(県)：地県、地域経営推進費(市町村)：地市

2 社会減対策の3つの柱(人口減少対策)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容														
(1) 希望する仕事や働き方の実現を応援 ◆若者の高い離職率 県北地域に就職した高校生の2割～3割が3年以内に離職 (高校卒業後3年以内の離職率) <table><tr><td>県北</td><td>離職率</td></tr><tr><td>R3卒</td><td>17.6%</td></tr><tr><td>R4卒</td><td>18.6%</td></tr><tr><td>R5卒</td><td>28.6%</td></tr></table> (県北局調)	県北	離職率	R3卒	17.6%	R4卒	18.6%	R5卒	28.6%	◆ 若者や女性の職場定着【継続】 ア 若手社員向けの人材育成セミナー及び交流会の実施（新卒～3年目）【継続】広域 若手社員の早期離職を防止し、同世代の交流を促進するとともに、職場環境の改善等を進めるため、若者の意見や考え方を企業へフィードバック ・ フレッシュャーズ・カフェの開催（社会人1年目向け） ・ Reフレッシュャーズミーティングの開催（社会人2～3年目向け） イ 女性や若者等が働きやすい職場環境づくりへの経営層向けセミナーの開催【継続】、広域 産学官が一体となって、女性活躍・人材確保等に取り組む「北いわて未来づくりネットワーク」の取組を支援 ・ 企業経営層向けの働き方改革やDX等のセミナーの開催 ・ 働き方改革や人材育成に積極的に取り組む企業の紹介						
県北	離職率														
R3卒	17.6%														
R4卒	18.6%														
R5卒	28.6%														
(2) 「いわて」への移住や定住を応援 ◆若者の管外転出 県北圏域の子どもは、24歳までに約半数が管外に転出 (H7～H11年に生まれた者の年齢別人口推移、人) <table><tr><td rowspan="2">人口推移</td><td>H7～H11</td><td>R1～R4</td><td rowspan="2">転出率</td></tr><tr><td>0～4歳</td><td>20～24歳</td></tr><tr><td>県北</td><td>6,135</td><td>2,795</td><td>54.4%</td></tr><tr><td>全県</td><td>62,847</td><td>43,292</td><td>31.1%</td></tr></table> (国勢調査)	人口推移	H7～H11	R1～R4	転出率	0～4歳	20～24歳	県北	6,135	2,795	54.4%	全県	62,847	43,292	31.1%	◆ キャリア教育の充実とマッチング支援【継続】 児童生徒の将来的なUターンや地元企業への就職を促進するため、管内での仕事や企業への理解を深める取組を実施 ア 広域的なキャリア教育の支援【継続】、地市 ・ 久慈地域の中学生向けのキャリア教育の広域的な支援 ・ 合同職業講演会キャリアオーケストラや社会体験WE E Kの開催支援 イ お仕事理解セミナーや出前講座等の実施【継続】、地県 ・ 高校生向けのお仕事理解セミナー、地元企業人による出前講座や企業見学会等の実施 ・ 小中高校生向けの体験学習、就業ガイダンス等の実施 ウ 管内企業への就業支援【拡充】、広域、地県 ・ アパレル企業へのインターンシップの受入支援 ・ アパレル産業の理解促進と認知度向上に向けた専門学校生と地域の先輩従業員との意見交換会（クロストーク）の実施【新規】 ・ 高校生、大学生の保護者への管内企業情報の提供【新規】
人口推移		H7～H11	R1～R4		転出率										
	0～4歳	20～24歳													
県北	6,135	2,795	54.4%												
全県	62,847	43,292	31.1%												

※ 本庁事業：本庁、広域振興事業費：広域、地域経営推進費(県)：地県、地域経営推進費(市町村)：地市

2 社会減対策の3つの柱（人口減少対策）

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
◆人口の転出超過 人口の転出超過が恒常化している県北地域では、移住者の増加、関係人口及び交流人口拡大に向けた取組が急務	◆ 広域的な移住定住の推進とU・Iターンの促進【継続】 県と市町村で構成する「県北地域移住定住推進プロジェクトチーム」において、広域的な移住定住の取組を推進 ア 移住希望者への訴求性が高い広域移住体験ツアーの実施【継続】、広域 首都圏在住の若い世代をターゲットに、ヨガや琥珀磨きなどの体験の他、子育て支援制度・教育環境などのリアルな暮らしを想起させるツアーを実施 イ 「北いわて」として首都圏に売り込む移住イベントへの出展【継続】、広域 市町村と連携し、ふるさと回帰フェアなどの全国規模の移住イベントに「北いわて」として8市町村の共同ブースを出展し、情報発信を強化
◆いわてネクストジェネレーションフォーラム2025の継承（再掲） 11月15日に久慈市で開催された「いわてネクストジェネレーションフォーラム2025」において、久慈地域の若者たちが「若者になれる地域」をテーマに話し合い、大会メッセージが発信されたことから、この取組を継承・発展させることが必要	◆ 地域の新たな担い手の活動支援【拡充】 ア 若者・女性の交流や挑戦を支える地域ネットワークの形成及び情報発信【新規】、広域 県北地域の若者・女性が気軽に集い、語り合い、地域課題に主体的に向き合うためのネットワーク「NEXT ROOTS」を形成し、若者・女性の新たなチャレンジや地域活動への参画を促進 - 新たな若者・女性の参画を促進し、世代交代による担い手の循環が生まれる持続可能なネットワーク運営を支援 - SNS等の活用による情報発信を支援し、地域における若者・女性の活躍機運を醸成 - 地域課題の解決に向けた取組やネットワークメンバーの新たな挑戦を実践するための事業内容の検討を支援 イ 地域おこし協力隊の定着支援【継続】、広域 地域おこし協力隊の地域への定着を促進するとともに、県北地域の中間支援組織の活動を支援 - 中間支援組織と連携した、任期後の定着を見据えたフォローアップ研修等の実施

※ 本庁事業：本庁、広域振興事業費：広域、地域経営推進費(県)：地県、地域経営推進費(市町村)：地市

2 社会減対策の3つの柱(人口減少対策)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容																																																								
(3) 「いわて」との交流や関係づくりの応援 ◆ 観光入込客数の推移 県北圏域の観光入込客数は、コロナウイルス流行前の客数を回復 (観光入込客数、万人・回) <table><tr><th>年度</th><th>全県</th><th>県北</th></tr><tr><td>R1</td><td>2,921.3</td><td>267.0</td></tr><tr><td>R2</td><td>1,687.9</td><td>169.2</td></tr><tr><td>R3</td><td>1,560.1</td><td>174.7</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,833.3</td><td>204.5</td></tr><tr><td>R5</td><td>2,385.8</td><td>282.2</td></tr><tr><td>R6</td><td>2,644.1</td><td>320.8</td></tr></table> (岩手県観光統計概要) ◆ 外国人観光入込客数の推移 県北圏域への外国人観光客は、コロナ前を上回る (県北圏域の外国人観光入込客数、人・回) <table><tr><th>年度</th><th>アジア</th><th>北米</th><th>その他</th><th>合計</th></tr><tr><td>R1</td><td>1,547</td><td>1,336</td><td>365</td><td>3,248</td></tr><tr><td>R2</td><td>314</td><td>1,331</td><td>95</td><td>1,740</td></tr><tr><td>R3</td><td>96</td><td>181</td><td>459</td><td>736</td></tr><tr><td>R4</td><td>61</td><td>1,202</td><td>54</td><td>1,317</td></tr><tr><td>R5</td><td>560</td><td>1,945</td><td>379</td><td>2,434</td></tr><tr><td>R6</td><td>1,039</td><td>1,604</td><td>1,096</td><td>3,739</td></tr></table> (いわての観光統計)	年度	全県	県北	R1	2,921.3	267.0	R2	1,687.9	169.2	R3	1,560.1	174.7	R4	1,833.3	204.5	R5	2,385.8	282.2	R6	2,644.1	320.8	年度	アジア	北米	その他	合計	R1	1,547	1,336	365	3,248	R2	314	1,331	95	1,740	R3	96	181	459	736	R4	61	1,202	54	1,317	R5	560	1,945	379	2,434	R6	1,039	1,604	1,096	3,739	◆ 広域周遊観光と隣接圏域との交流促進【拡充】 ア 北いわてアドベンチャーツーリズムの推進【拡充】、広域 御所野遺跡やみちのく潮風トレイル等の特色ある地域資源の活用、八戸や鹿角など隣接圏域を含めた広域的な誘客を目指した総合的な取組として、<u>北いわてアドベンチャーツーリズムを推進</u> ・ 旅行会社への商品化提案及びFAMツアーの実施 ・ R7までに策定した久慈・二戸周遊ルートブラッシュアップ   北いわてアドベンチャーツーリズム実証調査(内真木洞) みちのく潮風トレイル(普代村) イ 世界遺産「御所野遺跡」などの縄文遺跡を核とした隣接圏域との交流拡大【継続】、広域 <u>世界遺産登録5周年を迎える「御所野縄文遺跡」を一戸町などの関係機関と協力して盛り上げるため、関連事業や情報発信を強化</u> ・ 縄文遺跡の体験型イベント「御所野縄文WEEK」の実施 ・ 「いわて縄文カード」の作成・配布(青森県との連携、5周年プレミアムカードの作成) ・ 八戸圏域及び鹿角圏域と連携し、縄文をテーマにしたデジタルスタンプラリー、ガイド研修会等の実施   北いわて縄文カード
年度	全県	県北																																																							
R1	2,921.3	267.0																																																							
R2	1,687.9	169.2																																																							
R3	1,560.1	174.7																																																							
R4	1,833.3	204.5																																																							
R5	2,385.8	282.2																																																							
R6	2,644.1	320.8																																																							
年度	アジア	北米	その他	合計																																																					
R1	1,547	1,336	365	3,248																																																					
R2	314	1,331	95	1,740																																																					
R3	96	181	459	736																																																					
R4	61	1,202	54	1,317																																																					
R5	560	1,945	379	2,434																																																					
R6	1,039	1,604	1,096	3,739																																																					

※ 本庁事業：**本庁**、広域振興事業費：**広域**、地域経営推進費(県)：**地県**、地域経営推進費(市町村)：**地市**

2 社会減対策の3つの柱(人口減少対策)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
◆ 県北の特色ある観光資源 自然資源である「三陸ジオパーク」や「みちのく潮風トレイル」、「九戸城」や「天台寺」に代表される歴史文化などの人文資源の魅力を内外に発信していくことが重要 ◆ 沿岸局と連携した周遊観光の推進 県北・沿岸振興圏に広がる「みちのく潮風トレイル」及び「三陸ジオパーク」などの地域資源を活用した魅力発信に県北広域振興局及び沿岸広域振興局が連携して取り組むことが必要 ◆ 漁港施設や水産物を活用した所得の向上 海洋環境の変化による秋サケ等の主要魚種の不漁が深刻化しており、漁業経営体の所得向上に向けた取組が必要	◆ 地域資源を活用した観光の推進と魅力の発信【拡充】 ア 歴史文化を活用した魅力発信【継続】、広域 北いわてお城コンシェルジュの「久保井朝美さん」の発信力を活かし、<u>八戸圏域も含めた地域の歴史・文化資源や観光情報の発信</u> - 管内イベントへの招聘 - 関連情報の提供 - 北緯40° ナニャトヤラ連邦会議との連携による広域的な情報発信  北いわて・お城コンシェルジュ(久保井朝美さん) イ <u>みちのく潮風トレイル</u>を活用した周遊観光の推進【新規】、広域 世界的に注目される「<u>みちのく潮風トレイル</u>」に訪れるインバウンドや国内観光客へのおもてなし、<u>すそ野の拡大を目的とした地域おこし協力隊や地域住民向けの取組</u>を沿岸局と連携して展開 - トレイル基礎研修：効果的な活用方法の検討に向けたマナーやリスクマネジメント等の学習 - トレイル実地研修：実際のトレイルコースにおける歩き方や楽しみ方の学習 ※ 三陸防災復興ゾーンプロジェクト2019のレガシー事業として、令和7年度まで県北局と沿岸局で交互にフォトロゲイニング大会を開催していた事業の組替え ウ 海業による販わいの創出と交流の拡大【拡充】、地県、国庫 漁村の交流人口の拡大と漁業者の新たな経営安定化の手段として、<u>久慈管内4市町村が広域的に連携した「海業」を推進</u> - 県北地域の「海業」に係る観光体験プログラムの創出、<u>地域コーディネーターの育成等</u> - 海業振興基本計画に基づくビジネスモデルづくり等の支援(種市地区)

※ 本庁事業：**本庁**、広域振興事業費：**広域**、地域経営推進費(県)：**地県**、地域経営推進費(市町村)：**地市**

3 地域振興プラン（Ⅰ 隣接圏域とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域）

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容																
(1) 多様な交流と連携 ◆人口の転出超過（再掲） 人口の転出超過が恒常化している県北地域では、移住者の増加、関係人口及び交流人口拡大に向けた取組が急務	◆ 移住定住等の推進【拡充】（再掲） ア 移住希望者への訴求性が高い広域移住体験ツアーの実施 イ 「北いわて」として首都圏に売り込む移住イベントへの出展 ウ 「NEXT ROOTS」等のネットワーク形成を支援																
(2) 保健と医療 ◆県平均を上回る自殺死亡率 (人口10万対) <table><tr><td>区分</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>県</td><td>16.1</td><td>21.2</td><td>20.0</td></tr><tr><td>久慈</td><td>15.0</td><td>46.0</td><td>27.4</td></tr><tr><td>二戸</td><td>32.2</td><td>24.8</td><td>29.6</td></tr></table> (人口動態統計)	区分	R3	R4	R5	県	16.1	21.2	20.0	久慈	15.0	46.0	27.4	二戸	32.2	24.8	29.6	◆ 自殺対策の推進【継続】 特に自殺死亡率が高い九戸村及び軽米町において、高齢者男性をターゲットとした「こころとからだの健康づくり講座」を実施【継続】、地県  こころの健康づくり講座（ゲートキーパー養成講座）
区分	R3	R4	R5														
県	16.1	21.2	20.0														
久慈	15.0	46.0	27.4														
二戸	32.2	24.8	29.6														
(3) 介護と福祉	◆ 子育て支援【継続】（再掲） 「いわて子育てにやさしい企業等」の認証取得及び「いわて子育て応援の店」の登録勧奨の推進 ◆ 女性活躍支援【拡充】（再掲） ア 若手・女性職員を中心とした局横断型の人口減少対策プロジェクトチームの設置 イ 各分野におけるアンコンシャス・バイアス等への「気づき」を与えるワークショップの開催 ウ 北いわてトップリーダーズ・アクションフォーラムの実施 エ 「NEXT ROOTS」等のネットワーク形成を支援 オ 「いわて女性活躍認定企業」の認証取得の促進 カ 市町村人口減少問題等に関する研修会の実施																

※ 本庁事業：**本庁**、広域振興事業費：**広域**、地域経営推進費(県)：**地県**、地域経営推進費(市町村)：**地市**

4 地域振興プラン(Ⅱ 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
(1) 災害に強い社会基盤整備 ◆洪水・土砂災害対策の推進 頻発化・激甚化する自然災害に対応する河川改修や砂防施設の整備を推進。 引き続き、ハード整備に加え、住民の安全かつ迅速な避難のためのソフト対策が重要  河川改修(久慈市小屋畑II) (2) 経済や暮らしを支える社会基盤の整備 ◆道路網の整備による隣接圏域との交流促進 三陸沿岸道路の全面開通(R3)以降、県北圏域と八戸圏域との往来が活性化し、通勤圏の拡大により市部と周辺地域の職住分離が可能となっている	◆洪水・土砂災害対策の推進【継続】 ア 河川改修の推進【継続】、国庫 イ 土砂災害対策施設整備の推進【継続】、国庫 ◆減災のためのソフト施策の推進【継続】 ア 特定都市河川の指定を踏まえた取組の推進【継続】、国庫 馬淵川流域のハード整備とソフト対策の推進により、浸水被害を防止・軽減 イ 地域の児童生徒に対するインフラ出前講座の実施【継続】 津波防災施設や砂防施設の有する機能や役割の周知を図り、防災意識の醸成と土木行政への理解を増進 ウ 防災・減災インフラの理解促進【継続】、地県 ・ 水門やダムなどのインフラにふれるイベントの実施 ・ 滝ダム施設見学会及び長内川川まつりを開催 ◆道路交通ネットワークの整備【継続】 ア 「(仮称)久慈内陸道路」の整備推進【継続】、国庫 (仮称)下平トンネル築造工事等の推進 イ 一般県道金田一温泉線の整備推進【継続】、国庫 令和8年度に予定される開湯400年記念イベントに配慮した金田一温泉線の整備推進
(3) 再生可能エネルギーの推進 ◆再生可能エネルギーの導入促進 太陽光発電や風力発電などの設置が進んでおり、再生可能エネルギーへの住民理解の向上と地元企業の関連事業への参入機運の醸成が必要	◆再生可能エネルギーを生かした地域づくり【拡充】 地域の理解促進と地元企業の関連事業への参入に向けた取組等を推進 ア 再生可能エネルギー分野におけるU・Iターンの推進【新規】、地県 地域の若者や女性の地元定着・回帰を促すため、県北地域の再生可能エネルギー関連産業の働き方や魅力を紹介するパンフレットを作成し、業種理解の深化を推進 イ 地元企業向け再生可能エネルギー研修会の実施【継続】 久慈市沖での洋上風力発電の導入に係る地元企業の理解醸成とメンテナンス業務等への地元企業の参入を支援するための研修会を久慈市商工会議所と協働で実施

※ 本庁事業：**本庁**、広域振興事業費：**広域**、地域経営推進費(県)：**地県**、地域経営推進費(市町村)：**地市**

5 地域振興プラン(Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
(1) 農業の振興 ◆白銀のひかりのブランド化 令和7年度に本格デビューした「白銀のひかり」のブランド化に向けて、安定した品質と収量の確保、生産者と消費者の認知度向上が急務  ◆県北農業研究所と連携した果樹生産 県北農業研究所果樹・野菜研究室と連携した果樹の高品質化や新たな品目検討を推進する必要がある	◆「白銀のひかり」の生産振興と認知度向上【継続】 ア <u>白銀のひかりの安定生産に向けた栽培指導の強化</u>【継続】、地県 ・ 地域栽培研究会活動の支援 ・ 新規作付け希望者向け研修会の開催 ・ 安定した品質・収量の確保に向けたマニュアルに基づく栽培管理指導 ・ 生育診断ほ等の設置による生育状況確認・品質向上実証 イ <u>生産者及び消費者向けPR活動の推進</u>【継続】、地県 ・ 学校給食提供・出前授業の実施 ・ 道の駅での精米盛り放題イベントの開催 ・ 久慈市「べっぴん夜市」での「琥珀サーモン入りおにぎり」の試食提供 ・ 二戸地域の産業まつり等での利用促進による認知度の向上と良食味の周知   白銀のひかり「出前授業」 白銀のひかり「学校給食」 ◆ <u>ブランド果実等の育成</u>【継続】 ア りんご「はるか」の冬恋率向上対策【継続】 イ 「はるか」に次ぐブランドりんごの育成支援【継続】 ウ 温暖化に対応した新たな果樹品目の検討【継続】、地県  りんご品種「はるか」

※ 本庁事業：**本庁**、広域振興事業費：**広域**、地域経営推進費(県)：**地県**、地域経営推進費(市町村)：**地市**

5 地域振興プラン(Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域)

現状と課題				対応の方向性及び具体的な取組内容	
◆鳥獣による農作物被害の推移 (農作物被害の推移、千円)				◆ 環境との調和がとれた生産体制の構築【拡充】	
地区	R4	R5	R6	ア 「みどり認定」拡大に向けた説明会や計画策定支援【継続】 環境負荷低減に取り組む農業者の拡大に向けて、研修会等による理解の醸成と認定誘導に向けた支援を実施	
久慈	3,940	3,329	1,849	イ 鳥獣被害防止対策の推進【拡充】	
二戸	21,165	37,989	12,587	・ 市町村が実施する鳥獣捕獲の支援	
				・ 県による広域捕獲（久慈）の継続実施、大型囲いわなの実証（継続）	
				・ 鳥獣被害防止総合対策交付金等を活用した集落ぐるみの被害対策の支援【新規】	
◆バイオ炭の農地施用の実証 林地残材を利用したバイオ炭活用による地域資源循環モデルの確立に取り組む県北・沿岸振興室と連携した取組が必要				ウ バイオ炭を施用する実証農地の拡大【継続】	
				・ バイオ炭施用実証等に向けた各種研修会でのPRや情報提供	
				※ ふるさと振興部県北・沿岸振興室と連携	
◆スマート農業技術等の導入促進 高齢化と人手不足から基幹的農業従事者が担うほ場面積の増加に対応し、省力化・効率化を図るため、スマート農業機器の導入が急務				◆ スマート農業技術等を活用した収益性の高い経営体の育成【継続】	
【スマート農業機器の導入状況 R7.3月】				ア スマート農業技術の周知・普及【継続】、 地県	
市町村	認定農業者	うちスマート農業機器等の導入済		導入効果の検証と現地検討会等による技術の周知・普及	
二戸市	128	8		イ 設備・機械等の導入支援【継続】、 県単	
軽米町	111	10		「いきいき農村基盤整備事業」等の活用による設備・機械等の導入支援	
九戸村	66	0			
一戸町	153	6			
※ トラクタや田植機の自動操舵等					

※ 本庁事業：**本庁**、広域振興事業費：**広域**、地域経営推進費(県)：**地県**、地域経営推進費(市町村)：**地市**

5 地域振興プラン(Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
(2) 林業の振興 ◆林業経営体の育成 県北地域の林業の持続的かつ健全な発展に向け、林業経営の受け皿となる経営体の育成や新規就業者の確保が必要  高校生向け林業・木材体験講座 ◆特用林産物の安定供給 生産者の高齢化の進展により、木炭や原木乾しいたけの生産者と生産量が減少 需用に対する供給が不足している生漆の生産拡大に向けた苗木生産手法の確立や植栽後の保育管理技術の普及促進が必要  首都圏での原木しいたけ販売促進イベント	◆ 新規就業者の確保や中核技術者の育成【継続】 ア 新規就業者の確保支援【継続】、地県 久慈翔北高校生等を対象とした体験型林業・木材講座の開催支援 イ U・I ターンの入受態勢支援 岩手県林業労働対策基金等を活用した求職者とのマッチング及び就職説明会への事業体の参加を支援 ◆ 林業経営体の実践力向上の促進【継続】 ア 担い手の実践力向上研修会等の実施【継続】、県単 イ 施業の集約化に向けた森林経営計画の作成支援【継続】、県単 ウ 森林施業の効率化や省力化に向けた先進的な林業機械等の導入支援【継続】 ◆ 特用林産物の生産・流通体制の強化【継続】 ア 木炭【継続】、地県 岩手木炭の認知度向上や消費拡大イベント等での販売促進 イ 乾しいたけ ・ 燃油高騰対策として乾燥機の導入支援【新規】、本庁 ・ 新規参入者がいる生産組合のほだ木整備を支援【継続】、本庁 ・ 生産技術や栽培技術の向上等を図る品評会や研修会の実施【継続】、地県 ・ 原木乾しいたけの認知度向上や消費拡大イベント等での販売促進【継続】、地県 ウ 生漆【継続】、地県 ・ ウルシ苗木生産体制の確立に向けた支援 ・ ウルシ林の健全育成支援 ・ ウルシ伐採材の収益化手法の検討

※ 本庁事業：**本庁**、広域振興事業費：**広域**、地域経営推進費(県)：**地県**、地域経営推進費(市町村)：**地市**

5 地域振興プラン(Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容												
(3) 水産業の振興 ◆漁業の担い手の確保 (県北地域の漁業経営体) <table><tr><td></td><td>震災前</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>県北</td><td>2,297</td><td>1,522</td><td>1,507</td></tr><tr><td>全県</td><td>10,382</td><td>6,354</td><td>6,085</td></tr></table> ※ 震災前の値は、H19～H21の平均値 ◆アワビ・ウニなどの磯根資源の減少 磯焼けが発生し、アワビ資源も減少やウニの身入り低下が生じており、資源回復の取組が必要 ◆漁港施設や水産物を活用した所得の向上 (再掲) 海洋環境の変化による秋サケ等の主要魚種の不漁が深刻化しており、漁業経営体の所得向上に向けた取組が必要  海業 (ふのり採り体験)		震災前	R5	R6	県北	2,297	1,522	1,507	全県	10,382	6,354	6,085	◆ 新たな担い手の確保・育成【継続】 ア 魅力溢れる漁業担い手の確保・育成【新規】、地県 アカデミー修了生等を講師として、自らの経験や夢等を交えた小中高生向けの漁業体験、就業ガイダンスを実施 イ 地域漁業に係る地元インフルエンサーの育成【新規】、地県 ◆ 中核的漁業経営体の育成【一部新規】 ア 魅力溢れる漁業担い手の確保・育成【新規】、地県 他地区のホタテガイ養殖の法人化の事例など優良経営モデルの導入に向けたセミナーの開催 イ マガキ養殖の生産性向上【新規】、地県 通常のカキに比べて成長の早い三倍体種苗の導入試験の実施 ◆ アワビ・ウニ等の水揚量の安定化【一部新規】 ア アワビ・ウニ餌料海藻の確保に向けた試験の実施【一部新規】、地県 ・ 施肥等による餌料用コンブの生長促進効果の検証試験の実施 ・ 増殖ブロックの改良による藻場造成の検証試験の実施 イ 種苗放流等の技術指導、ウニ移植の普及拡大【継続】、県単 ◆ 海業による賑わいの創出と交流の拡大【拡充、再掲】 漁村の活性化と漁業者の新たな経営安定化の手段として、久慈管内4市町村が広域的に連携した「海業」を推進 ・ 県北地域の「海業」に係る観光体験プログラムの創出、地域コーディネーターの育成等【拡充】、地県 ・ 海業振興基本計画に基づく漁業者等の意識醸成・ビジネスモデルづくり等の支援（種市地区）【継続】、国庫
	震災前	R5	R6										
県北	2,297	1,522	1,507										
全県	10,382	6,354	6,085										

※ 本庁事業：本庁、広域振興事業費：広域、地域経営推進費(県)：地県、地域経営推進費(市町村)：地市

5 地域振興プラン(Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
(4) 食産業とものづくり産業の振興 ◆県北地域の食産業 県北圏域は、小規模・零細経営の企業が多く商品開発や販路開拓、人材育成の分野での支援が必要 ◆県北地域のものづくり産業 企業の経営課題に応じた制度（県北広域産業力強化促進事業費補助金等）の周知やDXの導入など管内企業における先進的な取り組みの横展開が必要 ◆管内事業者への生成AIの導入促進 北いわて管内の事業者へ生成AIの普及啓発に取り組む県北・沿岸振興室と連携した取組が必要	◆ 北いわて食材の認知度向上・取引拡大 [拡充] 地元企業の販路拡大と売上向上を図るため、地域食材のPRや商談会等への出展を支援 ア 黄金の國いわて応援の店等のバイヤー及びオーナーシェフ等を対象とした産地見学会の実施 [新規]、地 県 イ 管内事業者の商品PR及び販路拡大を支援するため、八戸圏域での物産イベントを開催 [継続]、地 県 ウ 各事業者の現況及び支援ニーズの把握、各種支援制度等の情報提供、販路拡大支援等に係る企業訪問を実施 [継続] 北いわて物産フェア ◆ 特色あるものづくり産業の振興 [拡充] ア 異業種相互研鑽（トヨタ式カイゼン）導入済み企業へのフォローアップ活動の実施 [継続]、地県 イ トヨタ式カイゼンの導入事例やDX化の事例などの生産性向上に係る管内企業向けセミナー等の開催 [継続]、地県 ウ 県北ものづくり改善塾の開催及び人材育成支援 [継続]、地県 エ アパレル事業者への見学会及びインターンシッププログラムの実施 [継続]、広域 オ 児童・生徒等の工場見学、企業人による講演、工業高校生への技能習得支援 [継続]、地県 カ 事業者への生成AI導入・活用の促進 研修や伴走支援コーディネーターの活用を促進 [新規] ※ ふるさと振興部県北・沿岸振興室と連携

※ 本庁事業：**本庁**、広域振興事業費：**広域**、地域経営推進費(県)：**地県**、地域経営推進費(市町村)：**地市**

5 地域振興プラン(Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域)

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容																					
(5) 観光振興 ◆ 観光入込客数の推移（再掲） 県北圏域の観光入込客数は、コロナ前の客数を回復 （観光入込客数、万人・回） <table><tr><th>年度</th><th>全県</th><th>県北</th></tr><tr><td>R1</td><td>2,921.3</td><td>267.0</td></tr><tr><td>R2</td><td>1,687.9</td><td>169.2</td></tr><tr><td>R3</td><td>1,560.1</td><td>174.7</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,833.3</td><td>204.5</td></tr><tr><td>R5</td><td>2,385.8</td><td>282.2</td></tr><tr><td>R6</td><td>2,644.1</td><td>320.8</td></tr></table> (岩手県観光統計概要)  北いわて・お城コンシェルジュ (久保井朝美さん)	年度	全県	県北	R1	2,921.3	267.0	R2	1,687.9	169.2	R3	1,560.1	174.7	R4	1,833.3	204.5	R5	2,385.8	282.2	R6	2,644.1	320.8	◆ 広域周遊観光と隣接圏域との交流促進【拡充、再掲】 ア 北いわてアドベンチャーツーリズムの推進【拡充】、広域 御所野遺跡やみちのく潮風トレイル等の県北地域の特色ある地域資源の活用、八戸や鹿角などの隣県圏域を含めた広域的な誘客を目指した総合的な取組として、北いわてアドベンチャーツーリズムを推進 イ 世界遺産「御所野遺跡」などの縄文遺跡を核とした隣接圏域との交流拡大【継続】、広域 世界遺産登録5周年を迎える「御所野縄文遺跡」を一戸町などの関係機関と協力して盛り上げるため、関連事業や情報発信を強化  御所野縄文公園 ◆ 地域資源を活用した観光の推進と魅力の発信【拡充、再掲】 ア 歴史文化を活用した魅力発信【継続】、広域 北いわてお城コンシェルジュの「久保井朝美さん」の発信力を活かした県北地域の歴史・文化資源や観光情報の発信 イ みちのく潮風トレイルを活用した周遊観光の推進【新規】、広域 世界的に注目される「みちのく潮風トレイル」に訪れるインバウンドや国内観光客へのおもてなし、すそ野の拡大を目的とした地域住民向けの取組を実施 ウ 海業による賑わいの創出と交流の拡大【拡充】、地県、国庫 漁村の活性化と漁業者の新たな経営安定化の手段として、久慈管内4市町村が広域的に連携した「海業」を推進
年度	全県	県北																				
R1	2,921.3	267.0																				
R2	1,687.9	169.2																				
R3	1,560.1	174.7																				
R4	1,833.3	204.5																				
R5	2,385.8	282.2																				
R6	2,644.1	320.8																				

※ 本庁事業：**本庁**、広域振興事業費：**広域**、地域経営推進費(県)：**地県**、地域経営推進費(市町村)：**地市**

6 その他

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
(1) 小規模町村等支援 地方創生の本格始動後も東京一極集中はむしろ加速し、全国と同様に本県でも、婚姻率や合計特殊出生率の低下、人口の社会減が継続 特に小規模町村においては、医療・福祉・教育・防災・インフラなどの確保、財政の安定化、専門職やノウハウ不足の補完、地域の持続可能性の確保などが課題 (2) ツキノワグマ対策 ツキノワグマの目撃や生活圏への出没、人身被害が近年増加しており、関係機関と連携して被害防止に向けた取組を強化する必要  ツキノワグマ市街地出没時対応研修会 〔県北局主催〕	◆ 小規模町村等との情報共有・意見交換等〔一部新規〕 小規模町村には、医療・福祉・教育・防災・インフラなどの確保、財政の安定化、専門職やノウハウ不足の補完、地域の持続可能性の確保などへの支援が必要であることから、引き続き、町村と情報共有・意見交換など寄り添う対応を行うとともに、本庁の取組については関係町村と連絡調整等を実施 ア 小規模町村における職員確保に向けたインターンシッププログラムの支援 〔新規〕、〔本庁〕 四村連携会議の枠組みを活用し、本庁が新たに実施する「共同インターンシッププログラム」を地域の実情を踏まえた効果的な実施に向けた四村間の調整及び情報発信を支援 イ 管内市町村訪問による小規模町村等との情報共有・意見交換の実施 〔継続〕 ウ 四村連携会議へのオブザーバー参加 〔継続〕 ◆ 住宅問題への対策を講じる市町村を支援〔新規〕 普代村、軽米町、九戸村の空き家対策を中心とした住宅問題対策の企画立案等を支援 〔新規〕、〔本庁〕 ◆ ツキノワグマ対策 <u>ツキノワグマによる被害防止に向けた体制を強化するため、市町村等の取組を支援</u> ア ツキノワグマ地区管理協議会の開催 〔継続〕 市町村、猟友会、警察署等による協議会を開催し、クマ出没時における対応や協力体制の確認等を行い、関係機関との連携を強化 イ 市町村の体制整備の支援 〔拡充〕 〔本庁〕 本庁が実施する新たな取組（①市町村への経費補助、②ガバメントハンターの設置、③県北局管内で実施する市街地出没時対応訓練 等）や他圏域の好事例等の情報を管内市町村へプッシュ型で提供し、緊急銃猟等を円滑に実施するための体制整備を支援

※ 本庁事業：**〔本庁〕**、広域振興事業費：**〔広域〕**、地域経営推進費(県)：**〔地県〕**、地域経営推進費(市町村)：**〔地市〕**